**ローンボウルズとはどんなスポーツか？**

　　氷の上での競技のカーリングはご存じですね。

ローンボウルズはカーリングとよく似たスポーツで、海外では冬にカーリン

グを、夏にはローンボウルズを楽しむとも言われる兄弟分のような関係です。両者の違いは、

* カーリングは前方の氷面に描かれたサークルの中心に向かってストーンを投球し、どちらのチームが近いかを競う競技ですが、ローンボウルズは平らな芝生（天然芝でも人工芝でもよい）の前方に置かれたジャックと呼ばれる白い目標球に向かってボウルを投球し、どちらのチームが近いかを競う競技です。

このため、カーリングが「氷の上のローンボウルズ」と呼ばれ、ローンボウルズが「芝の上のカーリング」と呼ばれることがあります。

* カーリングは氷面をブラシで擦ることでストーンの滑る距離を延ばしたり、滑る方向を曲げることを行いますが、ローンボウルズはボウルの形がまん丸ではなく少し偏心（重心が片寄っている）した形状をしているために自然に転がり軌跡がカーブします。
* カーリングは1チームが4人で一人が2球ずつ合計8球をチームとして投球し、相手チームと競います。ローンボウルズはチームが１人の場合（シングルス戦）、2人の場合（ペアーズ戦）、3人の場合（トリプルズ戦）、4人の場合（フォアーズ戦）と4種類の競技があります。シングルスは1人4球、ペアーズも１人4球（チームとしては8球）、トリプルズは１人３球（チームとしては９球）、フォアーズは１人4球（チームとしては8球）を投球し、相手チームと競います。
* カーリングは世界選手権大会があり、冬のオリンピック種目にもなっていて最近は女子選手の活躍がめざましく、テレビにもよく登場して大人気になっています。

ローンボウルも毎年1回のアジア選手権大会、2年に1回の世界選手権大会があって日本選手も参加しています。オリンピック種目にはまだ入っていませんが、2032年のオーストラリア・ブリスベーンでの開催が決定している夏季オリンピック大会にはローンボウルズが種目採用されるよう準備が進められています（オーストラリアは英国に次いでローンボウルズが盛んな国であるからです）。

* カーリングもローンボウルズもその発祥は中世の英国であるとされており（カーリングは北欧であるとの説もあります）、どちらも歴史のあるスポーツです。

ローンボウルズはシェークスピアの「真夏の世の夢」などの作品中にもその名前が出てきたりします。

日本に伝来したのは、カーリングは1936年ドイツで開催された冬季オリンピックに出場した日本選手がストーンを持ち帰り、長野県諏訪湖でデモンストレーションをしたのが最初とされています。冬季オリンピック種目に正式採用されたのは1988年長野オリンピックからです。

ローンボウルズの日本伝来は、1963年に兵庫県在住の林氏らがオーストラリア大使館に連絡して国際協会の役員を日本に招聘し、日本ローンボウルズ協会を設立して1966年にはI.B.B.(国際協会)に正式加盟したのが初めとなりますが、実はそれより以前から既に横浜のYC&ACなどの外国人クラブでは在日外国人がローンボウルズを楽しんでいたという歴史もあります。

* カーリングもローンボウルズも共に、子どもから大人、老人まで男女に関わらず楽しむことが出来る生涯スポーツであるということにおいても共通性があります。

さらには車いす使用の身体障がい者でも対等に競技することが出来るので、ローンボウルズでは日本選手権大会などの国内大会でも健常者と障がい者が対等の条件で競技に参加しています。

* 単なる運動能力のみでなく、戦略・戦術判断も重要であるという点やコミュニケーションを緊密に取るチームワークの良しあしが重要であるという点においても、カーリングとローンボウルズは非常に類似性があります。

強いて言えば、カーリングは氷の上に描かれたサークルの中心が的であるので、的の位置が動くことはありませんが、ローンボウルズの場合は前方の目標球（ジャック）にボウルを当てることでジャックを動かすことが出来る（動いたあとの位置が新しい目標位置になる）ために、ゲーム中の変化がカーリングよりもいっそうバラエティに富んでおり、よりエキサイティングであると言えます。

* カーリングもローンボウルズも共に専用の競技施設が必要である（他のスポーツと施設を共用することがむつかしい）、広場さえあればどこででもプレーできるという訳にはいかない、という点も共通性があります。

このため普及促進がはかれない、国内の認知度が低い、という悩みが

あります。

ローンボウルズについて言えば、日本選手権大会などを開催できる専用競技場は、兵庫県神戸市しあわせの村、兵庫県明石市県立明石公園内、

東京都立川市昭和記念公園内、神川県横浜市Y.C.&.A.C.内　の4か所

のみです。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（以上）